

1 東京の観光の回復を目指す特別提言

(1) これまでの動き

- 平成22年10月：審議会に諮問 ⇒ 23年秋の答申を目指す
- 平成23年3月：東日本大震災の発生
- 平成23年8月：審議会

「東京の観光の回復を目指す特別提言」を公表
「震災前における答申骨子案」（H23.3月時点での到達点）を確認

(2) 東京の観光の回復を目指す特別提言

- 審議会の中間報告として、取りまとめ。

○基本理念：

緊急的・短期的な視点（概ね1～2年程度）から、旅行者数を回復させることに力点を置き、東京の観光施策の基盤を再構築。

2 東京の観光の回復状況

(1) 直近の訪日外客数 対前年同月比

出典：日本政府観光局（JNTO）

H23 3月：▲50.3%、4月：▲62.5%、7月：▲36.1%、H24 2月：▲19.3%

(2) 都内宿泊施設の定員稼働率

出典：観光庁

H23 3月：44.2%、4月：39.8%、7月：53.7%、12月：61.5%

【参考：平成22年平均：66.4%】

★東京の観光は回復基調にあるが震災前の水準には戻っていない。

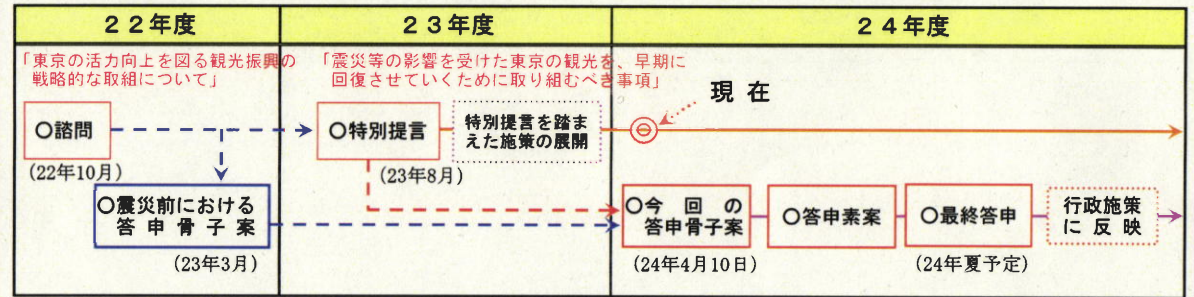
3 今回の答申骨子案（平成24年4月）

○位置付け：

「震災前における答申骨子案」及び平成23年8月の「特別提言」を踏まえた、最終答申に向けての「骨子案」。

- 「震災前における答申骨子案」以降の環境変化や「特別提言」による旅行者回復の視点を踏まえた施策等を取り込み。

4 審議会スケジュール



★平成24年夏を目途に、審議会としての最終答申をとりまとめ。

★新「観光産業振興プラン」は、平成24年度中に策定する予定。

5 「震災前における答申骨子案」から「今回の答申骨子案」までの戦略の変遷

